



「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」のご案内

一般社団法人 全国食支援活動協力会
専務理事 平野 覚治

全国食支援活動協力会とは

1986年

高齢者配食サービス・会食会の連絡会組織として設立

2016年9月

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー」事務局

2019年11月

休眠預金活用事業「子ども食堂サポート機能設置事業」

2020年～

新型コロナウイルスが発生・流行

こども食堂サポートセンターをはじめ、各地の中核拠点より食支援のニーズが寄せられる

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムプロジェクト」始動

活動団体の連絡会組織、活動支援、情報発信、啓蒙活動 に取り組んできました

農水省「販路多様化事業」(2020,2021) 「フードバンク活動支援」(2022)

厚労省「ひとり親家庭等の食事等支援事業」(2021,2022)

「見守り体制強化促進のための広報啓発事業」(2022)

(株)王将フードサービス「お子様弁当」無償提供マッチング(2021,2022) ほか、様々な活動・連携



アンケートからみる「食」の居場所の課題

活動継続にかかる課題

1位 食材・食品の寄付に関すること

2位 行政、社協、助成団体等からの助成・補助・委託に関すること

3位 地域資源とのつながりに関すること



食材・食品の支援は必要性が高い

活動の継続にむけての課題(3つまで選択)

団体・活動の立ち上げ・維持	24.7
活動場所、施設・道具	22.0
食材・食品の安全・衛生	12.9
活動のやり方・スキル	13.3
利用者の募集・受入れ	19.8
ボランティアの募集・受入れ	20.2
食材・食品の寄付	41.7
地域資源とのつながり	31.4
職員の募集・労務管理	6.2
助成・補助・委託	33.9
法律、規制、制度・政策関係	3.5
要望・政策提言	9.9
特にない	5.1

アンケートからみる「食」の居場所の課題

活動継続にかかる課題

- 1位 食材・食品の寄付に関すること
- 2位 行政、社協、助成団体等からの助成・補助・委託に関すること
- 3位 地域資源とのつながりに関すること

産官学民、多様なセクターの連携により
知恵を出し合いながら持続可能な活動へ

活動の継続にむけての課題(3つまで
選択)

団体・活動の立ち上げ・維持	24.7
活動場所、施設・道具	22.0
食材・食品の安全・衛生	12.9
活動のやり方・スキル	13.3
利用者の募集・受入れ	19.8
ボランティアの募集・受入れ	20.2
食材・食品の寄付	41.7
地域資源とのつながり	31.4
職員の募集・労務管理	6.2
助成・補助・委託	33.9
法律、規制、制度・政策関係	3.5
要望・政策提言	9.9
特にない	5.1

コロナ禍の「食」の居場所の課題と当会の取組

2019年～

新型コロナウイルスの流行

- ✓ コミュニティ型の会食会・こども食堂などは三密回避のため活動を休止、かわりに各地で**お弁当の配食**や**フードパントリー**が急速に広がった
- ✓ 生活支援型の高齢者配食サービスなどは**感染症対策**などを行いながら**活動を継続**した
- ✓ 母子生活支援施設・養護施設などは**食を活用したアウトリーチ活動**が広がった

2020年～

個人への食の提供
⇒世帯支援となり
活動範囲・負担が拡大

物価・光熱費の高騰により
支援希望者が拡大

生産調整・物価高騰他
による寄贈の減少

団体の活動・運営負担の増加に対応するため

全国へ寄付食品をつなぐ

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム(通称MOWLS)」の始動

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」(通称:MOWLS)



子ども～高齢者まで、全国のこども食堂等「居場所」に
集うすべての人が食事を得られる環境づくり

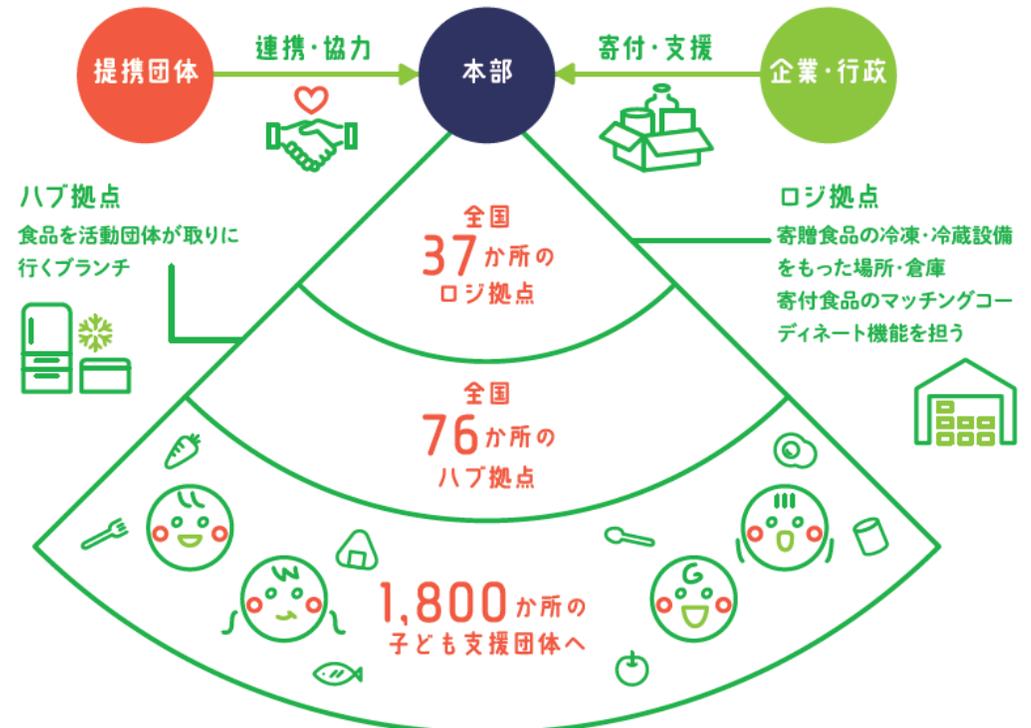
寄贈食品を全国に届けるため、全国のネットワークへの
食糧分配(シェア)、各地への配送(物流)、食糧保管倉庫(ストック)の整備を行う



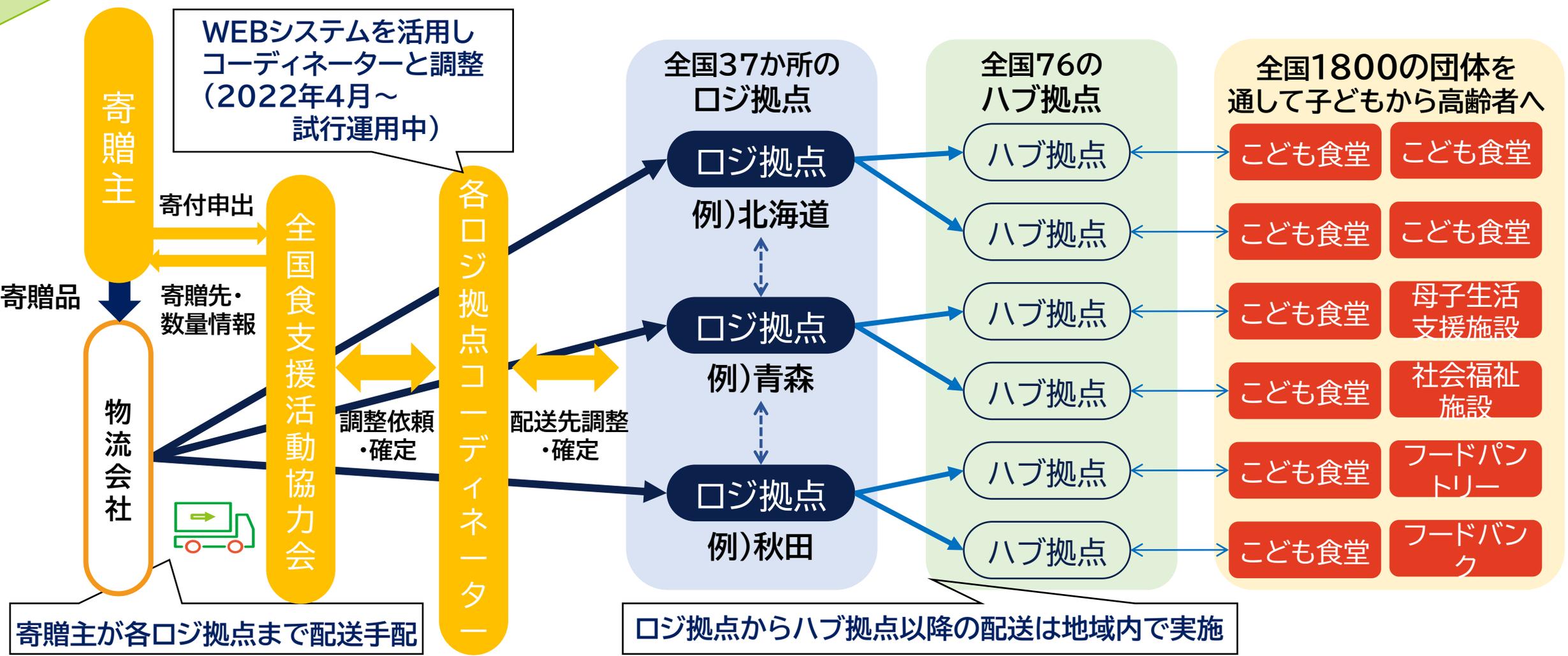
特徴

全国のネットワーク / 安心・安全な仕組み
新たな市場＝情報の流れる仕組み / 無料

- ✓ まとめて納品・荷受けすることで寄贈時の
配送費と調整負担を軽減
- ✓ 小さいな団体も寄贈が受けられる環境整備



MOWLSの仕組み



コーディネーター:
寄贈品受取希望有無の回答・送付先の調整・決定を行う

ロジ拠点: 一次受け拠点
大量の寄贈食品の保管機能をもった場所・倉庫
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応

ハブ拠点: ロジ拠点の支店
活動団体を取りに行ける距離に設置された、
冷凍・冷蔵設備を有する拠点(設置は推奨)

食支援 × ソーシャルワーク の 必要性

フードパントリーやお弁当の配食、こども宅食など、「食」を介した支援により
今まで見えなかった在宅の課題が顕在化



課題解決のため

専門機関との連携 や

活動団体のための相談窓口 の必要性が増しています

フードパントリー
お弁当の配食
こども宅食



扉をあけてくれることで、
在宅の課題が見えるように



生活困窮、不登校
ネグレクト、虐待
ヤングケアラー etc



学校、行政
社会福祉協議会
要保護児童対策地域協議会
母子生活支援施設



活動団体の相談窓口
専門機関の把握、連携
従事者研修
寄贈物品のマッチング
各種情報提供

MOWLSの全国共通の課題と必要な支援

物流



- ・物流会社様による戻り便やアイドルタイムを活用した運搬
- ・月1回のルート配送
- ・空きスペースを活用し、荷物を混載

倉庫(ストック)



例: クラレイ株式会社様
冷凍品の受け入れにて協力

- ロジ拠点必要機能
- ・10トントラックOK
 - ・フォークリフトOK
 - ・パレット卸OK
 - ・大型の保管施設/
大型の冷凍冷蔵庫

- ハブ拠点必要機能
- ・4トントラックOK
 - ・冷凍冷蔵設備



人手(シェア)



- ・食品の期日管理/品質管理
- ・食品受取希望者への対応
(場合によっては配送)

+ 資金的支援

例: アサヒ飲料の寄付型自動販売機設置を通したご寄付



多様なセクターとの連携・参画を目指し、
説明会・フェスタの開催やプロジェクト立ち上げ・課題解決に取り組んでいます

持続可能な食の共有・循環促進を目指して

企業・団体・行政などネットワークに関わる人を増やすことで、
支援を必要とされている人への食支援を促進

「食」をキーワードにしたネットワーク形成

MOWLSの説明会

2月20日 @東北



食フェスタの開催

2月3日 @青森



有志メンバーと取り組む課題解決物流支援プロジェクト

中核ロジ拠点とは

県域もしくは複数県域分の寄贈食品の
保管機能をもった倉庫、大型トラック・
パレット納品に対応が可能



地域のネットワークの充実と
県域を越えた連携により
全国で拠点(倉庫)と物流の整備
に取り組んでいます



持続可能な活動に向けて

まずはスモールスタートで、できることから始めてみませんか

寄贈

配送

人手(シェア)

保管

資金

コーディネーター

得意を活かして多セクターで
つながりあうことで
みなさんで地域の食を通した
居場所づくり活動を
豊かにしませんか



— 支援事例 —



ロッテ様による
寄贈支援



アサヒ飲料様の寄付型自動販
売機設置を通した寄付支援



首都圏物流様による
配送・保管支援

社協・行政の方には、
コーディネーターや
助成金などの地域に
よって様々な形で
ご協力をいただいて
おります

行政・社協様による
後方支援



MOWLSを通じたパートナー団体

様々なステークホルダーと連携し、食支援に取り組んでいます

連携団体

こども食堂、母子生活支援施設、
多世代居場所、社協等

約 **2,000** 団体

連携企業

食品メーカー、団体、協賛企業等

36 社・機関

行政

厚生労働省、農林水産省、
内閣府、各都道府県庁、等

直近の催事のご案内

「青森県で協力したい」をつなぐ～

3/20(月) 13時～16時
会場:会場 および オンライン



- 新しく参画した都道府県
- 参画中の都道府県
- 未実施

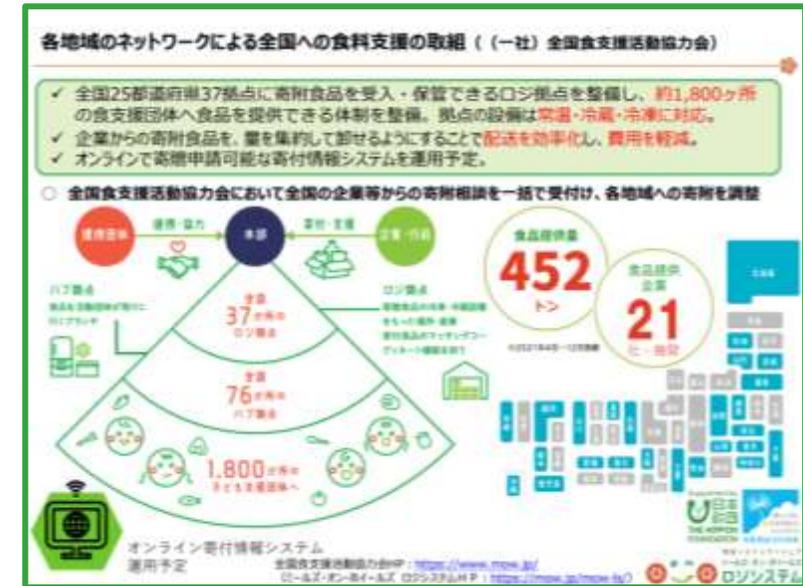


《2022年度実績》



ご清聴ありがとうございました

各地域のネットワークによる**全国への食糧支援**の取組として**農水省HP**に掲載いただいています



一般社団法人全国食支援活動協力会 事務局

HP : <https://www.mow.jp/mow-ls/index.html>

住所 : 東京都世田谷区上用賀6-19-21

TEL : 03-5426-2547

E-mail: saposen@mow.jp

「MOWLS」または
「食支援」で検索